

新型コロナウイルスに対するイベルメクチンの現状

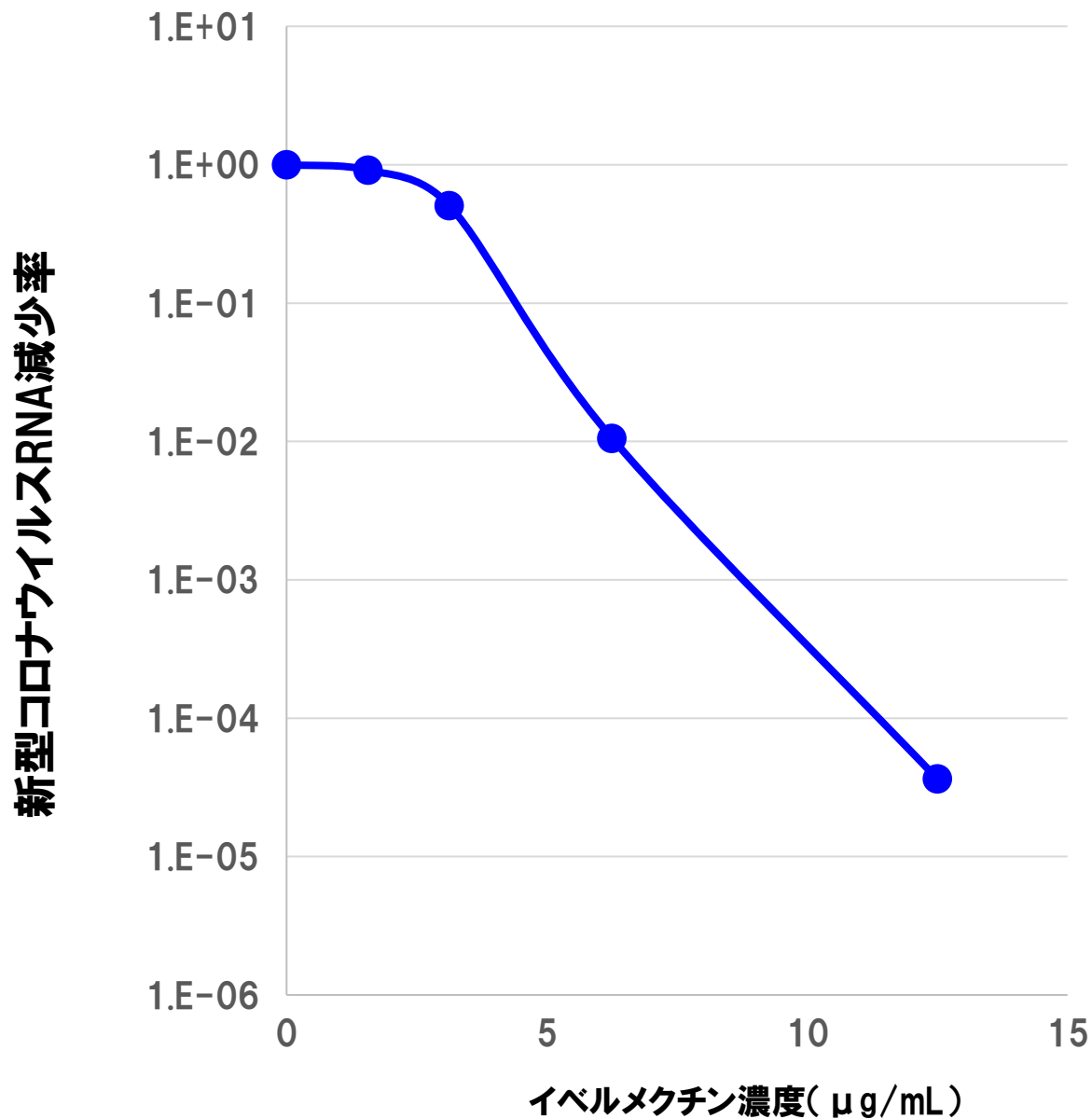
世界的な状況と北里大学の取組



COVID-19対策 北里プロジェクト

A collage of images related to COVID-19 research. It features several chemical structures, including a complex molecule with multiple rings and functional groups, and a smaller molecule with a central nitrogen atom. There are also several green, spiky virus particles. At the bottom right, there is a photograph of a Nobel Prize ceremony with the text '大村 智 特別栄誉教授 ノーベル生理学・医学賞授賞式 (2015)' (Dr. Takashi Ohmura, Special Honorary Professor, Nobel Prize in Physiology or Medicine Award Ceremony (2015)).

イベルメクチンの新型コロナウイルスに対する不活化効果

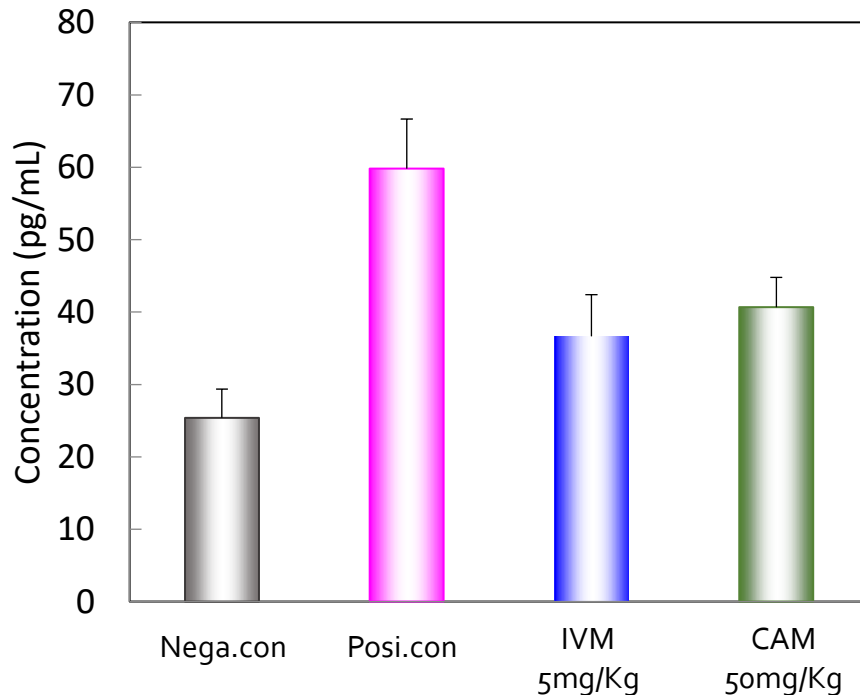


新型コロナウイルスによって誘導されるTNF α とIFN γ は 相乗作用によって細胞壊死を誘発する。

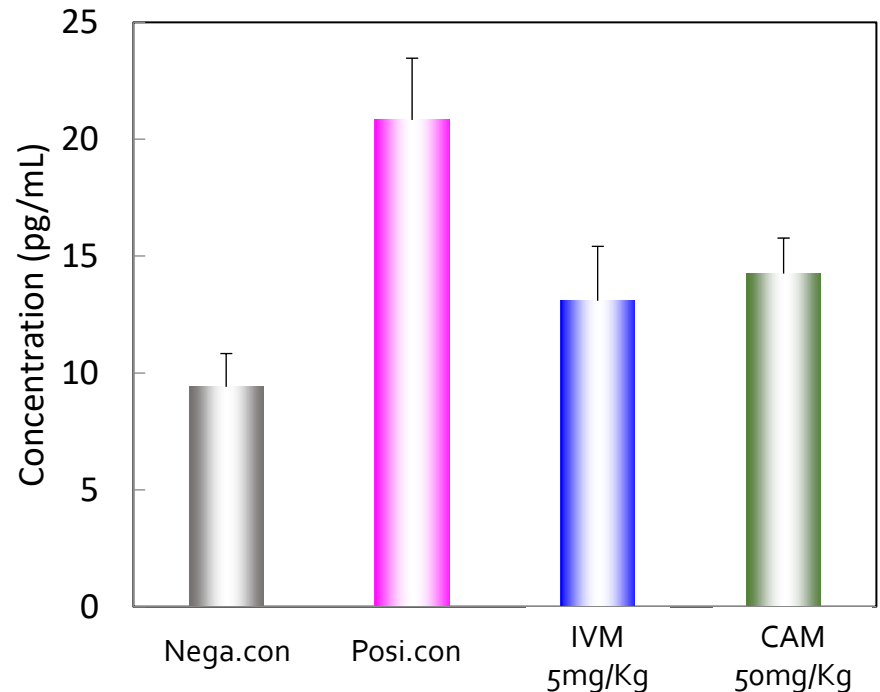
Karki et al. 2021, Cell 184, 1–20. CellPress

炎症(肺炎)を惹起したマウスのTNF α とIFN γ をイベルメクチンが抑制している。

TNF- α

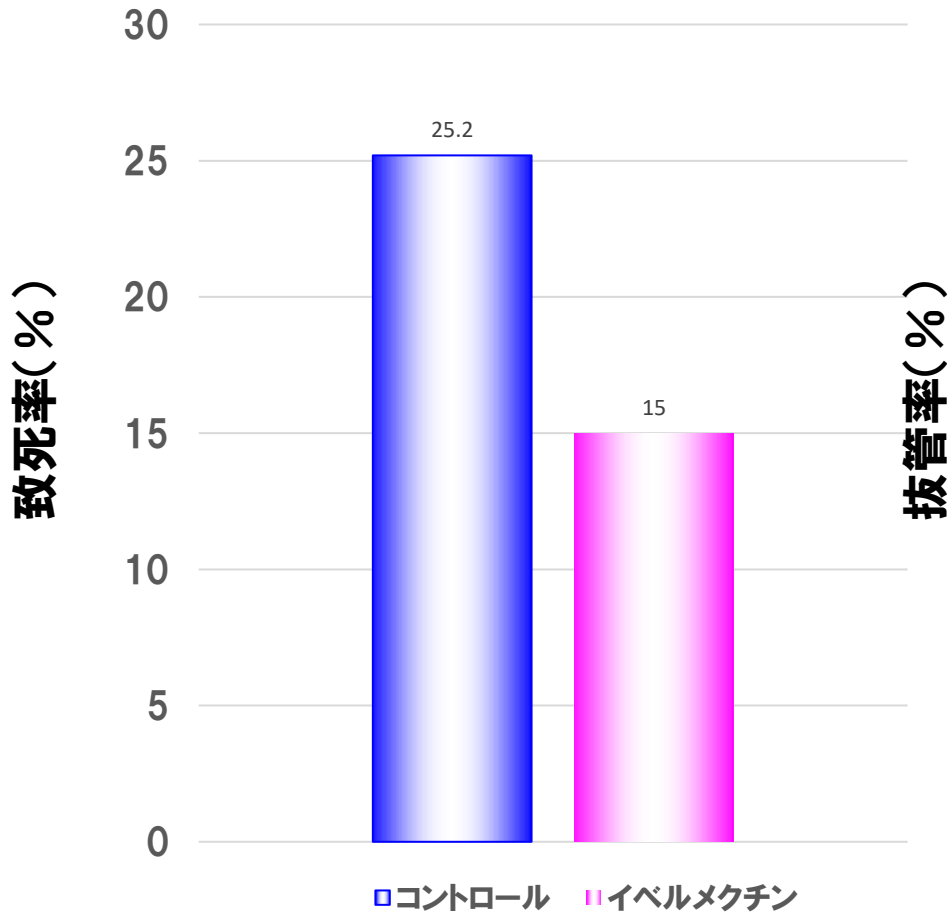


IFN- γ

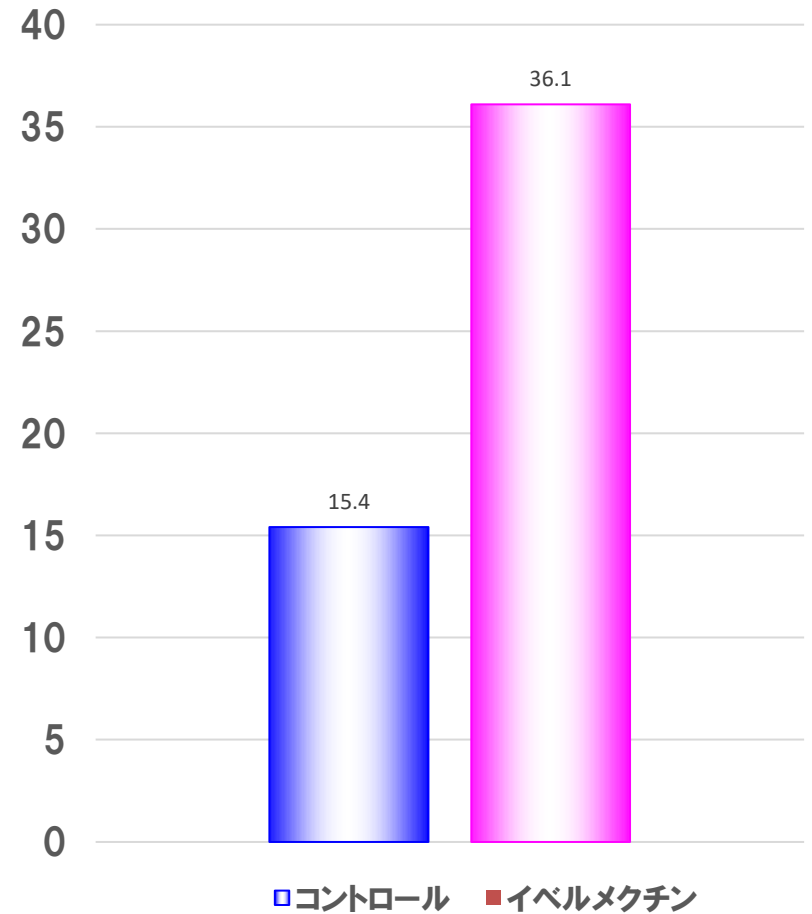


イベルメクチンの新型コロナウイルスに対する効果

軽症から重症患者の致死率(%)

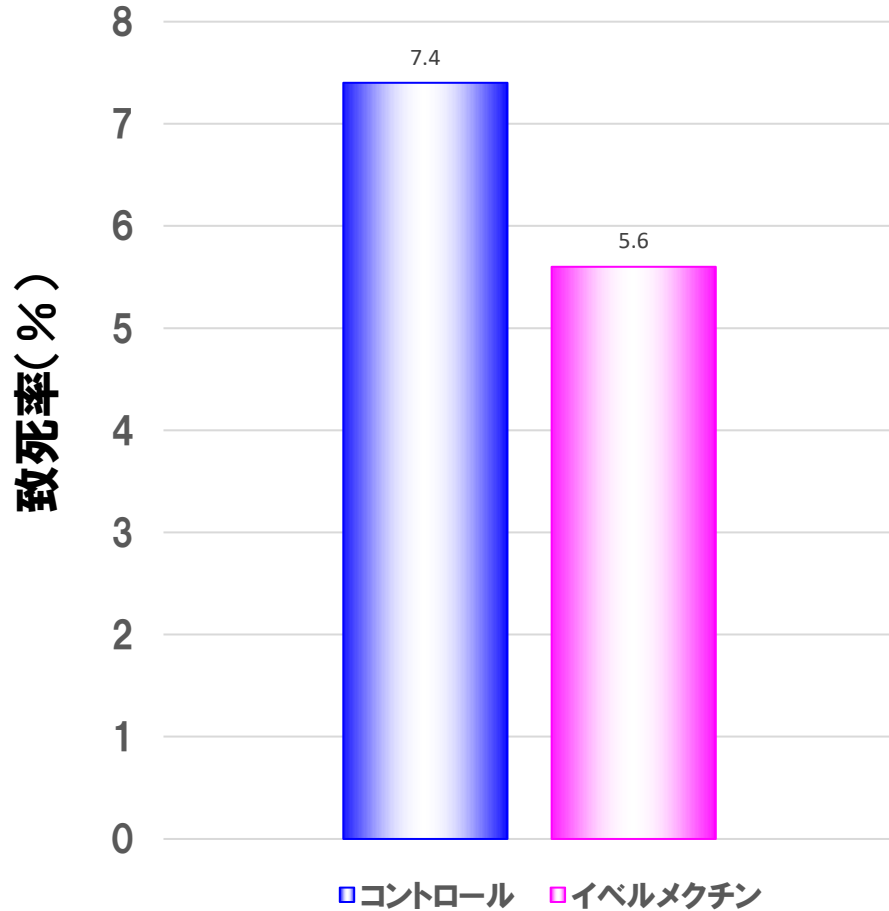


抜管の成功率(%)

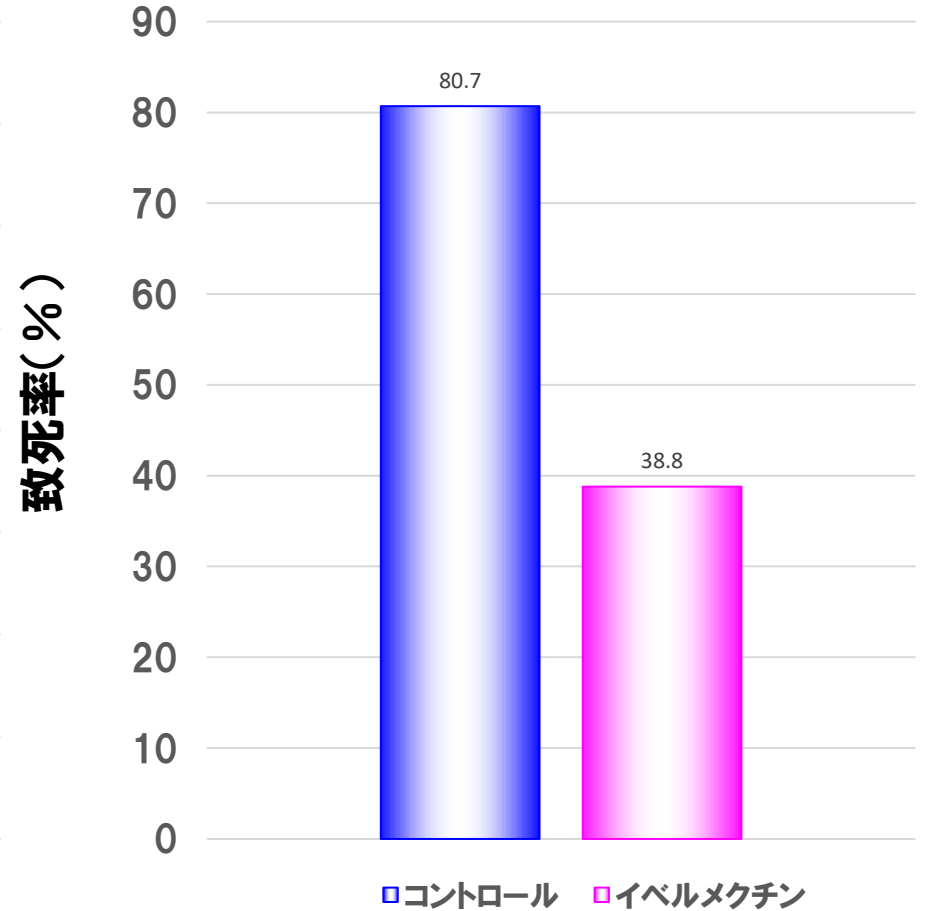


イベルメクチンの新型コロナウイルスに対する効果

軽症患者の致死率(%)



重症患者の致死率(%)



北里大学で実施中の治験

新型コロナウイルス感染症に対するイベルメクチンの医師主導治験

課題: COVID-19 患者に対するイベルメクチンの有効性及び安全性を検討する
プラセボ対照ランダム化二重盲検(評価者、患者)多施設共同並行群間比較試験
(RCT)

目的: イベルメクチンの SARS-CoV-2 増殖抑制効果を指標とした有効性及び安全性を検討する。

症例数: プラセボ120例、イベルメクチン120例